世界陸上に福島、佐藤

日本代表選手 初出場が半数

世界陸上の代表選手に選ばれた（左から）沢野大地、高橋萌木子、福島千里、中村友梨香、江里口匡史、高平慎士

日本陸連は29日、広島市内で8月の世界選手権（ベルリン）代表を発表した。男女計57人で、既に発表されているマラソンと競歩を含め初出場が約半数の計27人と新鮮な顔ぶれ。陸連はメダル1、入賞6の現実的な目標を設定した。

男子短距離は、日本選手権の100㍍決勝をけがで棄権した塚原直貴（富士通）が2大会連続の代表入り。日本選手権を制した江里口匡史（早大）は初代表、高平慎士（富士通）は3大会連続。個人種目のほか400㍍リレーでも入賞以上を狙う。

女子短距離は、福島千里（北海道ハイテクAC―帯南商出）が初代表。佐藤真有（ナチュリル―福島大、帯南商出）も2回目の出場。高橋萌木子（平成国際大）は2大会連続2度目の挑戦になる。

新宮美歩（大阪・東大阪敬愛高）は高校生でただ一人代表入りし、1600㍍リレー出場を目指す。

女子長距離は、北京五輪マラソン代表の中村友梨香（天満屋）が初代表。福士加代子（ワコール）、小林祐梨子（豊田自動織機）も選ばれた。

男子ハンマー投げの室伏広治（ミズノ）は8大会連続8度目の選出（不出場の2005年大会を含む）。同棒高跳びの沢野大地（千葉陸協）、同走り高跳びの醍醐直幸（富士通）も順当に名を連ねた。団長は日本陸連の沢木啓祐専務理事、監督は高野進強化委員長が務める。

既に発表済みのマラソン、競歩を除く陸上の世界選手権（ベルリン）代表は次の通り。氏名、所属後の丸内数字は選出回数。

【男子】▽短距離 江里口匡史①木村慎太郎①（以上早大）塚原直貴②高平慎士③（以上富士通）斎藤仁志（筑波大）①藤光謙司（セーレン）①金丸祐三（法大）③広瀬英行（慶大）①▽長距離 上野裕一郎（エスビー食品）①岩井勇輝（旭化成）①▽障害 田野中輔（富士通）②成迫健児（ミズノ）③吉田和晃（順大）①岩水嘉孝（富士通）⑤▽跳躍 醍醐直幸（富士通）③沢野大地（千葉陸協）④鈴木崇文（東海大）①荒川大輔（大阪陸協）②▽投てき 室伏広治（ミズノ）⑧村上幸史（スズキ）③▽混成 池田大介（WUA）①

【女子】▽短距離 高橋萌木子（平成国際大）②福島千里（北海道ハイテクAC）①有②（以上ナチュリル）和田麻希（チームミズノ）①新宮美歩（大阪・東大阪敬愛高）①▽長距離 中村友梨香（天満屋）①小林祐梨子（豊田自動織機）①佐伯由香里（アルゼ）①福士加代子（ワコール）④▽障害 寺田明日香（北海道ハイテクAC）①久保倉里美（新潟アルビレックス）②青木沙弥佳（ナチュリル）②早狩実紀（京都光華AC）④▽跳躍 近藤高代（長谷川体育施設）③桝見咲智子（九電工）①▽投てき 海老原有希（スズキ）①

体に吸収したい

福島千里 1次予選突破が目標。速い選手と一緒に走り、そのタイムを体に吸収したい。（右脚部付け根の違和感は）それほど重くない。すぐに練習を始められると思う。

六花亭が優勝

天皇杯軟式野球 帯広支部予選

栗田会計下す 来月北大会へ

【決勝・六花亭―栗田会計】六花亭は四回2死から明平正和（右）が勝ち越しの左越え本塁打を放ち、平原敬生（左）とタッチを交わす

軟式野球の天皇賜杯第64回全日本大会帯広支部予選（道軟式野球連盟帯広支部主催）が27～29の3日間、帯広の森平和球場と芽室町営球場で行われた。決勝は前年まで北大会4連覇中の六花亭と今月の東日本大会出場でB級に昇格したばかりの栗田会計が対戦。六花亭は同点で迎えた四回に明平正和（31）の左越え本塁打で勝ち越すと六、七回に足を絡めて追加点を挙げ、守っては先発佐藤浩司（27）、片山俊平（26）のリレーで最少失点に抑え5―1で勝利。支部予選は1999年から予選免除の2007年以外連勝中。六花亭は7月24日から富良野市で開催される北大会に出場する。（大野篤志）

◇決勝

栗田会計	0010000000	1
六花亭	1001021000×	5

▽本塁打＝明平（六）
▽二塁打＝田中（六）
▽審判＝加藤善、下保、江原、相原

六花亭 投打に自信

4番明平が力発揮

六花亭にとっては今季の戦力を図る初の公式戦。山本英隆監督（44）は「打線はベンチ入りしている全員が使える。投手もめどが立った」と満足のいく結果だった。

4番明平正和は決勝の初回から爆発。2死二塁から初球を左前にはじき返し、先制。同点とされた後の次打席では野澤直弘投手の6球目のインローをすくい上げ、さく越えの本塁打。「どん詰まり。風に運ばれた」と照れるが、前日にも本塁打を放っており、打撃好調ぶりが結果をもたらした。駒大苫小牧高が夏の甲子園を初制覇した時の4番・原田勝也（23）、先の大学野球選手権で準優勝した富士大出身の平原敬生（22）ら新人も力を示した。

佐藤浩司

六花亭とは初回、1死から田中が中越え二塁打で出塁。2死から明平の適時左前打で先制した。同点で迎えた四回は明平の左越え本塁打で勝ち越し、六回には先頭の山中の出塁をきっかけに野選と走塁妨害、敵失などで2点を追加。七回にも2死一、三塁から一走山中の三盗の間に三走河合が本塁を陥れ1点を加えた。先発佐藤は7回を3安打1死球に抑え、八回から登板した片平が2回を完ぺきに抑えた。

栗田会計は三回2死二塁から岡和田の適時左前打で1点を挙げたものの打線が湿り、好投を続けていた野澤を援護できなかった。

投手陣も安定。エース片山俊平は決勝の締めの2回を投げただけで、今大会は佐藤浩司と堀野雄一郎（27）の2人が担った。3年目の佐藤は今年、硬式でプレーしていた時のサイドスローに戻した。

堀野は野手から投手に転向して初の公式戦だったが、4試合で2人は失点を3にとどめた。決勝を先発した佐藤は「久々の決勝での登板。相手も好投手だったので自分の気持ちも入った」と監督の期待に応えた。

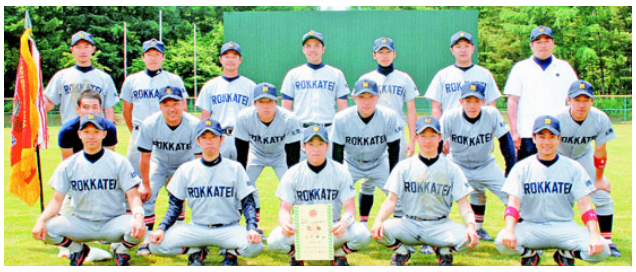
全国では05年のベスト8が最高。今年の全国大会は山本監督の出身地、石川県で開催される。明平は「監督を石川県に連れて行く」と北大会5連覇をにらみ、山本監督も「エイトの壁を破りたい」と全国上位を見据えている。

【栗田会計】

		打	安	点	振	球
⑦	賀田	4	0	0	0	0
③	和岡	4	1	1	0	0
①	澤野	3	0	0	0	1
⑧	地山	4	0	0	2	0
⑥	古川	3	1	0	0	0
⑤	川元	3	0	0	1	0
②	保苅	3	0	0	1	0
⑨	加藤	3	0	0	1	0
④	加川原	3	1	0	0	0
犠	盗	併	残	失		
0	0	0	3	2		

		打	安	点	振	球
③	小野	4	0	0	2	0
⑨	田中	4	1	0	0	0
⑤	飯野	4	0	1	1	0
⑦	明平	3	2	2	0	1
7	権野	0	0	0	0	0
⑥	平原	3	1	0	1	0
6	山縣	1	1	0	0	0
②	松岡	4	1	0	0	0
④	河合	3	1	0	1	0
①	佐藤	2	0	0	0	0
H	原田	1	1	0	0	0
1	片山	0	0	0	0	0
⑧	山中	3	1	0	0	0
犠	盗	併	残	失		
0	3	1	4	0		

	回	者	球	数	安	振	球	責
野澤	8	33	107	9	5	1	3	
佐藤	7	25	79	3	3	1	1	
片山	2	6	13	0	2	0	0	



優勝した六花亭

六花亭相手に投げ切り手応え

栗田会計・野澤

野澤直弘

○…今月B級に昇格したばかりの栗田会計がA級、B級の上位チームを次々と撃破し、決勝に進出。全国常連の六花亭に敗れはしたが、激戦区のC級で〝横綱〟を張ったC級ナンバーワン投手だった野澤直弘（26）は六花亭の4番明平正和に痛打を浴びた。「初回は甘いツーシームを逃さず打たれた。ホームランを打たれたボールもツーシームだが、インローに曲がり自分としてはベストボール。それを打たれたのだから、さすがというしかない」と脱帽。

それでも失点には失策がからんだものもあり、打ち込まれたという印象はない。「六花亭を相手にそこそこ投げることができたという手応えはある」と、これからのB級での戦いに自信を得ていた。

準優勝の栗田会計

◇1回戦
幕別町役場 1000000001 1 / 0021210X 7 0（七回コールド）六花亭
帯広後楽園 0000100010 1 / 0110021X 6 1 帯広市役所
鹿追町役場 1001000000 1 / 2101200002× 8 1 栗田会計（八回コールド）日甜芽室
0000000000 0 / 0000002200X 4 0 芽室町役場
◇2回戦
六花亭 0000010030 2 / 0000100002 5 浦幌町役場
浦幌町役場 2001210410 9 / 0012020001 6 パナソニック電工帯広
パナソニック電工帯広 4100004000 1 / 0120000010 4 9 旭山倶楽部
栗田会計 5110000001 8 / 0000000001 8 大樹町役場（七回コールド）
芽室町役場 1202023000 1 / 1000000000 9 本別町役場（七回コールド）
◇準決勝
六花亭 0220100002 7 / 0000000002 7 浦幌町役場（八回コールド）
芽室町役場 0000001002 3 / 0000000022X 4 3 栗田会計

六花亭相手に投げ切り手応え

栗田会計・野澤

○…今月B級に昇格したばかりの栗田会計がA級、B級の上位チームを次々と撃破し、決勝に進出。全国常連の六花亭に敗れはしたが、激戦区のC級で〝横綱〟を張ったC級ナンバーワン投手だった野澤直弘（26）は六花亭の4番明平正和に痛打を浴びた。「初回は甘いツーシームを逃さず打たれた。ホームランを打たれたボールもツーシームだが、インローに曲がり自分としてはベストボール。それを打たれたのだから、さすがというしかない」と脱帽。

それでも失点には失策がからんだものもあり、打ち込まれたという印象はない。「六花亭を相手にそこそこ投げることができたという手応えはある」と、これからのB級での戦いに自信を得ていた。

帯南町女子10年ぶりV

男子は帯広連合

（27、28日・帯四中）

市中体連 バレーボール

女子はサーブカット、スパイク、ブロックの3拍子がそろった帯南町が準決勝で全十勝春季大会3位の帯二に2―1で競り勝ち、決勝でも帯緑園をストレートで破って10年ぶりの優勝を遂げた。男子は帯広連合（帯緑園、帯五、帯八、帯西陵）が持ち前の攻撃

【女子決勝・帯南町―帯緑園】帯南町は第2セット、⑪堀井葉月（右）と②三上麻美がブロックに跳ぶ

女子10年ぶり優勝の帯南町

男子初優勝の帯広連合

勝負どころでブロック決まる

○…女子決勝は勝負どころで帯南町のブロックがさく裂。「相手エースを抑えるんだと集中していた」（工藤直樹監督）。エース三田村梨奈主将（3年）中心のバレーに厚みを加えた攻撃を披露した。

ブロックアウトを防ぐためこの日は両手を内側に向けることを徹底。「相手の動きもよく見えていた」（工藤監督）ことで決定率も高めた。

三田村主将は「今回の優勝で一皮むけた感じがする」とチーム状態に自信を深め、一丸となって悲願の全十勝制覇を果たすつもりだ。

サーブ修正したい

男子初優勝の帯広連合・高木健太主将（3年）の話

全十勝春季大会と同様にサーブカットが安定し効果的な攻撃ができた。サーブの精度が低く、1つミスをすると止まらなくなることも多かったので全十勝夏季大会までに修正したい。

【女子】◇決勝トーナメント▽1回戦
帯 川西 一 2―0 帯
帯 五 2―0 帯 大空 四
帯 七 2―1 帯 八 六
帯 西陵 2―1 帯 川 七
帯 緑園 2―0 帯 ▽準々決勝
帯南町 2―0 帯 二
帯 25―23 25―22 16―25 1 帯 二 ▽決勝
帯南町 2 25―20 25―19 0 帯緑園

【男子】◇リーグ戦
帯広連合 2 25―10 25―16 0 帯 二
帯広連合 2 25―12 25―16 0 帯 二
帯広連合 2 25―18 25―13 0 帯南町
帯南町 2 25―10 25―16 0 帯 二
▼順位＝①帯広連合②帯南町②勝1敗③帯二2敗

文部科学大臣杯 あさ野球

（30日）

◇4次戦
☆十勝川A球場
六花亭レッズ 0021021 6 / 0000000 0 アースワン
【六】米津―高橋
【ア】中村、山本―千葉
▽三塁打＝高橋（六）
▽二塁打＝堀川（六）
▽審判＝松浦、高松、高井
☆十勝川B球場
年中野球 0000320 5 / 0000000 0 GS
【年】佐々木―坂本
【G】桜井、三好優―澤
▽三塁打＝横山、坂本（年）、小里（G）
▽審判＝江原、高橋正、隅田
☆十勝川C球場
ベストスポーツ 0000020 2 / 0000100 1 栗田会計（六回時間切れ）
【栗】大林―下部山
【栗】山地―保苅
▽二塁打＝川元（栗）
▽審判＝梅村、豊田、高岩
☆十勝川D球場
マテック 2000010 3 / 0000003 0 サンライズ（サンライズの抽選勝ち）
【マ】八木、森―大井
【サ】籾山―川端
▽三塁打＝大井2、山田（マ）
▽審判＝野村、大沼、北田

〈19日目・7月1日の試合〉（午前5時試合開始）

◇4次戦
▽十勝川A＝中札内野球クラブ―ごろすけ倶楽部
▽十勝川B＝帯広スバル自動車―Vertex
▽十勝川C＝NORTH BEARS―SG・ROYAL
▽十勝川D＝十勝農協連―FAウイングス

きょうの勝因

六花亭レッズ 篠原絵理子マネジャー

米津さんの13奪三振とやっちさんの三塁打に尽きます！ 初スタメンの辻さんと堀川さんのヒットや全員野球の堅い守備で今日も勝利。和さん、健治さん次待ってます！

年中野球 古田一恵選手兼マネジャー

久々に七回まで出来ましたね!! 最後の投直ダブルプレー格好良かったです!! 坂本さんナイスバッティング☆ 基本はセンター返しですよね☆☆ 佐々木さんナイスピッチング&横山さんナイスバッティング!!

ベストスポーツ 宮川奈示マネジャー

ヤシさん完投お疲れ様でした。今日はヒットが出ない中、大変だったと思います。本当にナイスゲームでした、まさか勝てるとは…。次回も強敵ですが、みんなで頑張っていきましょう！ 健治さんの3三振は貴重でしたね。次も期待してます。

サンライズ 藤原雅行監督

完全な負け試合でしたが、最後に粘りを見せることが出来ました。3点で抑えたのがよかった。守り勝ちです。随分打たれましたが…。

十勝の男女2組予選リーグ敗退

ソフトテニス ジャパンカップ

ソフトテニスの第38回ゴーセン杯争奪戦ハイスクールジャパンカップ2009（日本ソフトテニス連盟、北海道ソフトテニス連盟主催）が25～28日、札幌市の北海道立総合体育センターで行われた。男子の福士貴弘・大内宏樹組（帯農3年・2年）、女子の川崎優巳・早苗千帆組（帯南商3年・2年）はともに予選リーグで敗退した。

【男子】◇予選リーグ（関係分）
吉田・石川（静岡・富士宮北）4―3 福士・大内（帯農）
岩佐・上垣（三重・三重）4―0 福士・大内
▼順位＝①吉田・石川組2勝②岩佐・上垣組1勝1敗③福士・大内組2敗

【女子】◇予選リーグ
三木・橋本（岡山・就実）4―1 川崎・早苗（帯南商）
渋谷・鈴木（山形・山形・城北）4―1 川崎・早苗
▼順位＝①三木・橋本組2勝②渋谷・鈴木組1勝1敗③川崎・早苗組2敗